

第95回未来医療セミナー

2016 7/28(木) 16:00~17:00

大阪大学吹田キャンパス 銀杏会館

流産、早産、妊娠高血圧症候群という 三大産科疾患の病態解明と治療への試み

モデレーター 木村 正 (大阪大学大学院医学系研究科)



齋藤 滋

富山大学大学院医学薬学研究部産科婦人科
教授

私が産婦人科医になったのは昭和55年ですが、当時は流産の原因は胎児異常であるため、治療法はないとされていきました。また早産もどうして生じるのかも謎でした。妊娠高血圧症候群は妊娠中毒症と呼ばれ、学説の疾患と呼ばれ、その病態は全くの謎でした。私の研究の中心は、どうして異物である胎児が拒絶されないのかというミステリーから始まりましたが、その中で治療できる流産がある事が判り、また早産の病因が感染・炎症であることを見出し、妊娠高血圧症候群は一種の胎児拒絶反応に近い状態であることを発見しました。本日の話は最新のAIやWGSのような話でなく、疫学的な事実や単に生物学的な事実から見えてくる病態につきお話したいと思います。このような古典的な方法でも継続することで、治療法の糸口が見えてくることがあります。

主催：大阪大学大学院医学系研究科

共催：未来医療交流会

後援：革新的医療技術創出拠点プロジェクト

大阪大学「TR実践のための戦略的高機能拠点整備」

大阪大学医学部附属病院未来医療センター

お問い合わせ

大阪大学医学部附属病院未来医療センター ctr.osakauniv@dmi.med.osaka-u.ac.jp <http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp>
障がいのある方など、特別な配慮が必要な場合は、事前にご連絡ください。